

目 次

はじめに	iii
第1章 英語圏の大学における盗用という問題	3
1.1 英文ライティングにおける盗用の考え方	3
1.2 盗用の定義の難しさ	7
1.3 引用の手引きに見られる実行不可能な指導や矛盾する指導	9
1.4 盗用の発見や判定の難しさ	10
1.5 研究社会が求める研究の倫理と論文の書き方	12
第2章 英語圏における盗用研究	15
2.1 盗用は道徳心欠如が原因なのか	16
2.2 読み書きの問題としての盗用問題	21
2.3 理想の言い換えは現実的に可能か	23
2.4 読み書き能力習得についての前提は妥当か	27
2.5 大学教員と大学生の間の認識の相違	29
2.6 まとめ	31
2.7 英語圏における盗用問題の現状	33
第3章 盗用とはどういう問題なのか	35
3.1 研究社会への移行の問題	35
3.2 引用とは何か	37
3.3 教育や学習の問題としての盗用問題	40
3.4 言い換えの意味と意義	42
3.5 盗用の判定と対応の問題	44
3.6 まとめと考察	49

第4章 日本の大学で盗用と言われないための英文指導をどう行うか……	52
4.1 日本の大学で盗用の問題を教える難しさ……	52
4.2 大学生と大学院生に教えるべき事柄……	54
4.3 指導の背景となる考え方……	56
4.4 日本の大学生には何を教えるべきなのか……	58
4.4.1 研究社会での価値観や振舞い方を教える……	58
4.4.2 基礎的な英語力や英文ライティング力をつけさせる……	60
4.4.3 引用の仕方を教える……	72
4.4.4 自分の言葉で書くことを教える……	81
4.4.5 大学生に英文ライティングと盗用問題を教えるための 具体的なカリキュラムの提案……	83
4.5 日本の大学院生には何を教えるべきなのか……	85
4.5.1 研究者としての責任感をもたせる……	85
4.5.2 研究分野の論文の読み方や書き方を教える……	88
4.5.3 要約と批評を書かせる……	92
4.5.4 研究論文の書き方を補助する課題を出す……	94
4.6 まとめ……	97
あとがき……	101
謝辞……	105
参考文献……	107
付録……	117
A. 文献ノートの作成法……	119
B. APA (6 th edition) に則った引用のルール……	122
C. MLA Handbook (7 th edition) に則った引用のルール……	131
D. CMS (16 th edition) に則った引用のルール……	140
E. 盗用について知るために役に立つサイトのまとめ……	157
索引……	159

図・表・資料一覧

●第1章

- 資料 1.1 引用のルールの概要 4
資料 1.2 引用のルールと著作権の関係 5

●第2章

- 図 2.1 文化による知識や学習への態度の違い 18
表 2.1 Howard (1995) による盗用の種類分け 20
表 2.2 「盗用の時代」と「文章の相互依存性の時代」の盗用のとらえ方の比較
32

●第4章

- 表 4.1 英文ライティングにおける指導内容の対象による違い 55
図 4.1 足場かけの考え方 57
図 4.2 表現の盗用やパッチワーク文使用が許される段階 60
資料 4.1 英和活用辞典の使い方 63
資料 4.2 ジャンルによる目的、文構造、表現の特徴の違い 65
資料 4.3 説明文の各部の役割 65
資料 4.4 独立文を教えるための授業の一例 67
資料 4.5 独立文の相互評価表の一例 68
資料 4.6 独立文の評価表の一例 71
資料 4.7 引用の考え方を説明するためのハンドアウトの一例 72-74
資料 4.8 引用文を書く前の確認リスト 74
資料 4.9 引用文を書いた後の確認リスト 75
資料 4.10 クラスメイトの意見を引用しながら書く引用文の指導プロセス 76
資料 4.11 引用文の相互評価表の一例 77
資料 4.12 引用文の評価表の一例 78
資料 4.13 研究レポートのチェックリスト 80-81
資料 4.14 言い換えの仕方 82
資料 4.15 大学学部生にはいつ何を教えるべきなのか 84-85
資料 4.16 論文の読み方と学び方を説明するためのハンドアウトの一例 88-90
資料 4.17 研究論文を読むときの確認リスト 91-92
資料 4.18 要約と批評の書き方 93

資料 4.19 研究計画書の作成手順 95-96

表 4.2 盗用問題のさまざまな原因と考えられる対策 98-100